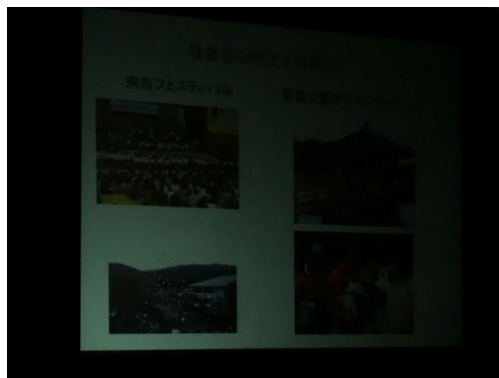


平成24年度 家庭と学校協働フォーラムの概要

平成25年1月17日（木）14時から、田原本青垣生涯学習センター弥生の里ホールで開催しました。

実践報告では、3小学校が3年間の取組を報告しました。

奈良市立飛鳥小学校からは、子どもの規範意識や社会性の向上を目指して、あいさつ、右側歩行、チャイムを守る、靴やスリッパをそろえることを重点項目とするとともに、地域と連携して「あすかフェスティバル」を開催した取組などが報告されました。



斑鳩町立斑鳩小学校からは、子どもの体力向上を目指して、保護者や地域の人たちと協働した外遊びの取組や「ぞうきんがけ選手権」、「親子でそうじ」などの取組を推進することで、子どもの活動意欲や体力が向上したことが報告されました。



大淀町立希望ヶ丘小学校からは、子どもの学力向上を目指して、「読書タイム」や「スピーチタイム」を設けたり、地域の方による図書ワーキンググループの協力で学校図書館の活用を促進したりした取組が報告されました。



協議では、実行委員会の委員として取り組まれた地域の方からの発言も多くいただきました。家庭・地域と学校とが協働するためのより効果的な方策や有効な協働の在り方について協議を行い、学校を核とした地域との連携・協働や地域と共にある学校づくりを進めることの大切さが明らかになりました。

奈良教育大学の河崎智恵先生からは、3年間のプロジェクトのまとめとして、「家庭・地域の力で広げる学校教育の可能性」と題して、各モデル校それぞれの実態に応じて、学校、家庭・地域の関係者による実行委員会を設け、子どもの課題 解決に向けた取組を協働して具体化し、実施・検証してきた 効果や今後の取組の方向性などについて御講演いただきました。

